

今年は梅雨が長いですね。じめじめとしてなかなか快適でない季節ですが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。体調には十分に気を付けて迫りくる暑さを乗り切っていきましょう。今回は「栄養指標」についての特集です。



栄養指標といえは？

～まずは何といってもアルブミン値！～

栄養指標として最も有名なアルブミン値ですが、甲状腺ホルモン、インスリンなどで上昇し、炎症性エディター、肝機能障害、心機能障害などで低下してしまうなど、栄養状態以外にも様々な影響を受けてしまいます。さらに半減期が21日と長く、短期的な栄養評価には向いていません。そんなとき急性期などのリアルタイムに栄養状態を把握したい場合には、プレアルブミン(半減期 1.9日)やコリンエステラーゼ(半減期 11日)のような半減期の短い栄養指標の方がより有用となります。検査項目の特徴を知ること、患者さんの栄養状態をより知ることができます。NST 対象者の検査結果を見るときにはぜひ注目してみてください。

～CONUT 値を計算してみよう！～

CONUT (Controlling Nutritional Status) は一般的に測定されている検査項目であるアルブミン(ALB)、末梢血リンパ球数(TLC)、総コレステロール(T-cho)値をスコア化し、3つのスコアを蓄積して求めた CONUT 値を栄養評価の指標として用いるものです。CONUT 値は蛋白質代謝、免疫能、脂質代謝という3つの指標を反映したもので、栄養レベルは正常、軽度異常、中等度異常、高度異常の4段階に評価されます。

ALB(mg/dl) スコア①	≥3.50	3.00～3.49	2.50～2.99	<2.50
	0	2	4	6
TLC(/μL) スコア②	≥1600	1200～1599	800～1199	<800
	0	2	2	3
T-cho(mg/dl) スコア③	≥180	140～179	100～139	<100
	0	1	2	3
栄養レベル	正常	軽度異常	中等度異常	高度異常
CONUT 値 (①+②+③)	0～1	2～4	5～8	9～12

* 当院のNST 介入者は、初回の採血時に CONUT 値を計算し、栄養状態を評価しています。

当院での調査によると、OHAT スコアが高値の場合、CONUT 値も高値であるという傾向がみられ、関連が示唆されています。栄養アセスメントの際にはぜひ、OHAT スコアにも注目してみてくださいね♪

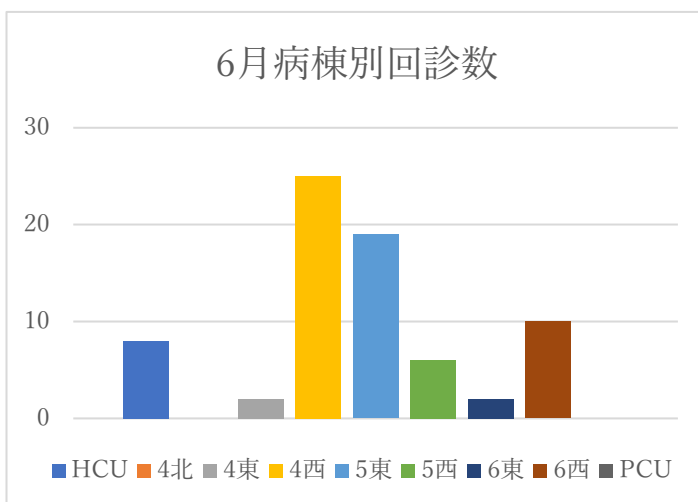


NST メンバー：臨床検査技師 稲葉・伊勢



6月分の実績

	TPN (延べ人数)	EN(延べ人数)	PEG造設数	新規介入数	延べ回診者数
6月	156	245	2	29	72



TPN・・・中心静脈栄養 (高カロリー輸液)
EN・・・経腸栄養 (経鼻・胃ろう等からの経管栄養)

★NST 対象患者さんは、毎週の体重測定と SGA の入力をお願いします。

★NST 依頼を入力する際、依頼理由を備考欄にご記入ください。介入時にスムーズになります。(例：低 Alb/褥瘡/周術期/EN/PN etc.)

文責：NST 専従 管理栄養士 谷岡 恵